



主な活動内容



ヤマメ放流および保全活動



ヤマメ幼魚放流会の開催



カワウ対策活動



釣りや自然を通じた交流機会づくり



SNS等を通じた情報発信活動



2026年度 yamame to asobu プロジェクト活動報告書

～ 小さな一歩が未来を創る ～
一枚のTシャツから未来の小菅川へ

2026年5月
yamame to asobu

CONTENTS | 目次

01	はじめに
02	プロジェクト概要
03	活動報告：小菅川解禁イベント
04	活動報告：カワウ対策活動
05	活動報告：ヤマメ幼魚放流会
06	情報発信活動
07	今後の活動方針
08	おわりに

「人と川がつながるきっかけづくり」を軸に、小菅川の豊かな自然環境とヤマメの未来を次世代へつなぐための活動をまとめた報告書です。

01 | はじめに

「yamame to asobu」プロジェクトは、山梨県小菅村・多摩源流小菅川をフィールドに、「人と川がつながるきっかけづくり」をテーマとして活動しています。

小菅村漁協公認リバーキーパーとして、小菅村漁協との連携・協力のもと、つり人・地域住民・来訪者・子どもたちなど、さまざまな立場の人々が関わり合いながら、小菅川の豊かな自然環境と、そこに息づくヤマメの未来を守り、次世代へつないでいくことを目的として活動しております。

本報告書では、2026年3月のプロジェクト始動以降、現在までに実施した活動についてご報告いたします。

02 | プロジェクト概要

活動理念

小さな一歩が未来を創る。

一人ひとりの関わりが、未来の小菅川につながっていくことを大切にしています。

特徴

- ・個人の活動をベースに
- ・小菅村漁協の協力のもと
- ・共感でつながる人たちによって成り立っています

企業・団体・個人を問わず、「同じ想いを持つ一人」として関わっていただける関係性を大切にしています。

主な活動内容

- ・ヤマメ放流および保全活動
- ・ヤマメ幼魚放流会の開催
- ・カワウ対策活動
- ・釣りや自然を通じた交流機会づくり
- ・SNS等を通じた情報発信活動

放流活動について

放流は、漁業法に基づき、第5種共同漁業権の免許を有する漁協によって行われるものです。

本活動は、「yamame to asobu」が小菅村漁協公認リバーキーパーとして活動していることを前提に、放流実施時には、小菅村漁協の指導および役員立会いのもと、安全かつ適切に実施しております。

03 | 活動報告：小菅川解禁イベント開催

実施概要

実施日：2026年3月7日（土）

実施場所：ほうれん坊の森キャンプ場

2026年小菅川の渓流シーズン解禁に合わせ、小菅川解禁イベントを開催いたしました。

- ・遊漁券販売（小菅村漁協にて）
- ・出展ブース
- ・来場者交流
- ・川を守る活動の周知

などを実施し、多くのつり人や来場者にご参加いただきました。

「一枚のTシャツから未来の小菅川へ」

本イベントを通じて、プロジェクトを正式始動いたしました。小菅村在住「里山デザイン」とのコラボレーションにより制作したプロジェクトTシャツについては、販売収益の一部を小菅村漁協を通じて、ヤマメ放流資金へ活用しております。

04 | 活動報告：カワウ対策活動

(1) 案山子制作・設置

近年、小菅川周辺でカワウの飛来が確認されていることを受け、溪流魚保護を目的としたカワウ対策活動を開始しました。

- ・天候耐久性
- ・安全性
- ・抑止効果

などを検証しながら改良を進め、小菅川C&R;区間へ最終的に6体の案山子を設置しております。案山子は「生きている存在」として、定期的な着せ替えやメンテナンスを行い、効果維持に努めています。

(2) 古着回収活動

案山子活動に伴い、地域・つり人の皆さまへ古着提供の呼びかけを実施いたしました。

- ・アウトドアウェア
- ・レインジャケット
- ・帽子
- ・ベスト
- ・ウェーダー
- ・ウェーディングシューズ

ご提供いただいた古着は、案山子の制作・着せ替えに活用しております。

(3) 黒テグス・キラキラテープ設置

カワウ飛来状況を踏まえ、段階的な追加対策として、黒テグス・キラキラテープの設置を実施しました。

主な設置エリア：小菅川C&R;区間の金風呂河原（水量計付近）、ほうれん坊下各所。

黒テグスは、水面に溶け込みやすく視認しづらい特性を利用し、カワウが接触時に警戒心を学習する効果を狙っています。キラキラテープについては、光の反射や揺れによる視覚的違和感を利用し、飛来抑制を目的として設置しております。

- ・定期巡回
- ・劣化確認
- ・強風による破損補修
- ・追加設置

など、継続的な維持管理と効果検証を行っています。

05 | 活動報告：ヤマメ幼魚放流会

実施概要

実施日：2026年4月4日（土）

実施場所：小菅川キャッチ&リリース区間

放流内容：ヤマメ幼魚 約7kg 放流

3月7日の解禁イベントにおけるTシャツ販売収益および放流募金を活用し、ヤマメ幼魚放流会を開催いたしました。

- ・つり人
- ・初参加者
- ・ご家族連れ
- ・子どもたち
- ・地域住民

など、多くの皆さまにご参加いただきました。

本放流会では、放流体験を通じた自然教育、川と魚への理解促進、地域との交流、小菅川の未来を考える機会づくりを目的として実施しております。

また、放流は小菅村漁協役員立会いのもと、安全管理を徹底しながら実施いたしました。

放たれた小さな命が自然の中で成長し、
再び次の命へつながっていく -

そのような「循環する川の姿」を、次世代へつないでいくことを目指しています。

06 | 情報発信活動

Instagram等のSNSを活用し、活動報告、保全活動周知、放流会案内、カワウ対策報告、小菅川の魅力発信を継続しております。

特に、活動背景や目的について丁寧な発信を行うことで、地域外からも多くの共感や協力をいただいております。

また、活動内容については、誤解を招かないよう主催表記・協力関係等も含め、正確な情報発信を心掛けております。

07 | 今後の活動方針

今後も小菅村漁協との連携のもと、ヤマメ保全活動、カワウ対策、放流活動、自然体験活動、地域交流活動、情報発信活動を継続してまいります。

「ヤマメが生きる川」
「人と自然がつながる川」

小菅川に関わる多くの人々と共に、この豊かな流れを未来へ残していけるよう、活動を積み重ねてまいります。

08 | おわりに

本活動は、小菅村漁協、地域関係者の皆さま、つり人の皆さま、ご支援・ご協力いただいた皆さまによって支えられています。

心より感謝申し上げます。

これからも、小菅川の未来につながる活動を継続してまいりますので、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。

2026年5月

yamame to asobu